

災害弱者を地域で守る
避難場所での
災害弱者配慮

安心避難所～女性の視点を

男女共同参画センター横浜北 常光明子

どうして男女共同参画センターが、防災を？

“女性の視点で考えるまちと暮らしの安全網”
2005年から取り組んできました

自分や自分の大切な
人が暮らし、働き、
成長するまち。
安心・安全なものに
することは、
女性にも男性にも
ゆたかな
まちづくりの基盤

「安全網」をつくるために

- ◆身近なリスクに気づく
- ◆解決する力を身につける

まちと人の
大きな「安全網」を
考えるテーマ
“身近な防災力UP”

避難所で女性が困ったことは・・・



本日のテーマである「避難所」
傷ついた心と身体の落ち着きを取り戻し、
生活の再建に向かう時期をすごす場所です。
どんなことに不安や居辛さを感じたか伺いました。

- 「我慢しなきゃ」 孤立感を深めたという声
- 誰もがいら立ち、混乱しているなかで
女性や子どもを狙った性暴力や犯罪の報告も。
- 家族の心身のケア、介護、避難所の炊き出し
を一手に引き受けて疲弊

東日本大震災 被災した女性たちの声 支援物資について聞いてみると

- 女性たちの実感・・・お風呂に入れな
こんなとき衛生用品は嬉しかった！
 - ・ ハンドクリームや
オールインワンタイプの基礎化粧品
 - ・ 厚めのウェットティッシュ（おしりふき）
 - ・ 生理用品、おりものシート、おむつ
 - ・ 授乳や防寒対策に大判ストール
 - ・ 髪留めやバンダナ、ブラ付きTシャツ
- 物資の仕分け、配布に女性メンバーがいると
安心して受け取れた♪

1995年から ・ ・ 2011年 ・ ・ そして

震災時には、女性特有の災害リスク、不安や
悩みがあることへの理解が進んでいます

東日本大震災では
発災後、1カ月で女性への
配慮の視点が記事に。
横浜市防災計画震災対策編
においても、修正の要点に
もりこまれています。

災害を経験した
女性たちからの
バトンを
しっかり受け止めて

横浜市防災計画震災対策編2013では

横浜市では昨年10月に被害想定の見直しを行い、
本年4月から震災対策編を新たにしました。

災害に強い地域づくりの要として、

地域防災拠点＝運営に関わる地域のひとりひとりの力・果たす役割は大きくなっています。

【地域防災拠点の管理・運営】

◆避難生活の維持、管理のなかで「女性、乳幼児、高齢者、障害者、外国人等に配慮すべき項目が記されています。

◎女性◎拠点運営への参画、防犯の強化、男女別トイレ等

「お互いさま」の安心づくりを！

✖ 「こんなときだから我慢しろ！」



こんなときこそ、お互いさま

『わたしの防災力ノート』出前学習会で各地に
伺って実感するのは地域防災への意識の変化です。
お互いさまを、具体化していくために私たちに
できること・・震災からの学びを平時の地域活動
にいかしていくことだと考えます。
青森県で行われた「安心できる避難所づくり」の
記録をご覧ください。

関連死の要因の5割が避難所生活に . . .

今、安心避難所づくりに取り組む意味

- ◆女性、子ども、弱者への暴力防止、安全への配慮は、助かった命をお互いに尊重すること
- ◆事例に学びながら、避難所の開設、運営訓練を繰り返し実践する時機にきている
- ◆ひとつの避難所における経験の蓄積にするだけでは勿体ない。面で地域の安心資源をつなげていくことが安全網になる。
- ◆女性も男性も参画し、情報と経験共有することが担い手（人・機関）のネットワークを強くする！



ご清聴
ありがとうございました